

第2回 SDGs 建築賞 募集要項

SDGs（持続可能な開発目標）は、地球環境だけでなく人間あるいは人類の持続可能性につながる大きな枠組みであり、建築にとってもSDGs達成に向けた取組は必須のものとなっています。

（一財）住宅・建築SDGs推進センターでは、省エネルギーや環境負荷低減のみならず、建築計画から廃棄に至る全ての段階におけるSDGs達成に貢献する先導的な取組を行っている建築について、前回2022年度に実施した第1回SDGs建築賞に続き、この度、第2回SDGs建築賞の公募をいたします。

本賞は、建築主、設計者、施工者及び利用者の協力により、建築物の計画、生産、運用、廃棄にいたる全ての段階におけるSDGs達成に向けた顕著な取組で、その普及効果が期待されるSDGs建築物を顕彰することによって、それらに関する設計、施工及び運用管理技術等の向上と普及を図り、SDGs社会の実現に寄与することを目的とします。

多くの方々のご応募をお待ちいたします。

主 催：一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センター

後 援（予定）：国土交通省

協 賛（予定）：（公社）日本建築家協会、（一社）日本建築学会、（公社）日本建築士会連合会、（一社）日本建築士事務所協会連合会、（一社）日本サステナブル建築協会、（一社）建築設備技術者協会、（一社）日本設備設計事務所協会連合会、（一社）日本ビルディング協会連合会

1. 対象建築物

以下の条件をすべて満たすものとします。

- ・住宅を除く建築物で、日本国内に存し、建築関係法令に適合するもの。
- ・応募日現在において、新築、増改築等の竣工から、概ね4年以内のもの。
- ・応募日現在において、概ね1年以上使用しているもの。

※過去に旧サステナブル建築賞または SDGs 建築賞に応募されたもので、運用における工夫や改善を行った場合の再応募は対象とします。

2. 応募部門

- 1) 大規模建築部門（2,000 m²以上、「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」の建築物エネルギー消費性能適合性判定の当初の規模要件に準ずる）
- 2) 中・小規模建築部門（1）以外

3. 応募資格・条件

- 1) 原則として建築主、設計者及び施工者の三者の連名とします。（都合により二者連名又はいずれか単独となる場合は、予め関係者の了解を取ったうえで応募してください。）
- 2) 応募責任者1名、連絡責任者2名（正・副）を定め、応募してください。

4. 賞

- 1) 部門ごとに、国土交通大臣賞 1点
- 2) 部門ごとに、(一財)住宅・建築SDGs推進センター理事長賞 1点
- 3) 1)、2)以外で審査委員会奨励賞 数点

5. 審査

応募資料に基づき審査委員会で書類審査を行うとともに、必要に応じて現地審査（応募者からの説明及び質疑応答を含む）を行い、優秀な作品について賞を決定します。

審査委員会（敬称略・委員は五十音順）

- 委員長 伊香賀 俊治 慶応義塾大学名誉教授
- 副委員長 清家 剛 東京大学大学院教授
- 委員 小泉 雅生 東京都立大学教授
- 委員 佐々木雅也 国土交通省住宅局参事官（建築企画担当）付建築環境推進官
- 委員 鈴木 康史 (一社)日本ビルディング協会連合会政策委員
- 委員 近本 智行 立命館大学教授
- 委員 林 立也 千葉大学大学院准教授

6. 日程

- 1) 応募受付：2024年5月13日（月）～2024年8月2日（金）
- 2) 現地調査：2024年10月頃
- 3) 表彰式：2025年1月中下旬に東京にて開催予定

7. 応募方法

- 1) 提出資料 (※下記(1)～(7)以外の提出資料は受けません。)

- (1) 様式1：SDGs建築賞応募申請書
- (2) 様式2：建築物の全体概要に関する説明書（A3版1枚）
- (3) 様式3：建築物のSDGs達成に向けた取組の説明書（A3版2枚まで）
- (4) 様式4：建築・設備の諸元と省エネルギー措置に関する資料
- (5) 様式5：直近1年間の月別エネルギー消費の実態
- (6) CASBEE建築（新築）又は不動産の評価結果（所定の書式）

（いずれも2021年SDGs対応版評価ツールにより評価すること（建築環境SDGsチェックリストを含む））

※CASBEE評価は自己評価で可。大規模建築部門の提出は必須ですが、中・小規模建築物部門においての提出は任意とします。

- (7) 建築物省エネルギー性能表示制度に基づくBELS評価書を取得している場合はその写し。

様式1～5の説明内容に関しては、本文は文字サイズ10pt以上、図表・グラフ内の文字は7pt以上とし、見やすいレイアウトを心がけて下さい。

- 2) 資料の作成方法

資料は(1)～(7)の順とし、それぞれの電子ファイル名に(1)～(7)の番号と作品名を記してください。

- 3) 資料データの提出方法 (※各ファイルの最大容量は10Mb以下として下さい。)

各様式をPDFデータ化し、メールにてお送り下さい。CASBEEの評価結果については、Excelシートのまま送付ください。

提出先 e-mail) kankyo@ibecs.or.jp

8. 補足事項

1) 応募資料について

(1) 審査の必要上、追加資料の提出をお願いすることがあります。

2) 入賞作品の公表等について

(1) 入賞作品は財団のホームページ、機関誌の他、住宅・建築関係の新聞、雑誌などで発表します。

(2) 入賞作品については、表彰式後、入賞作品について設計等をされた方から設計にあたってのコンセプトや工夫した点などについて、発表をしていただく作品報告会を予定しています。

(3) 入賞作品については、広報の利用に供するためパネル用データの提出、財団機関誌への寄稿をお願いします。

(4) 広報のために使用する応募資料の写真・データ等、パネル用データ等については、無償で使用させていただきます。予めご了承の上ご応募ください。
(著作権等の取り扱いはその時点で相談させていただきます。)

(5) 入賞作品以外は公表しません。

9. その他

1) 書籍「CASBEE - 建築（新築）評価マニュアル（2021年SDGs対応版）」、「CASBEE - 不動産 評価マニュアル（2021年SDGs対応版）改訂」は、（一財）住宅・建築SDGs推進センターのホームページの図書/機関誌のページ（<https://www.ibecs.or.jp/tosyo/index.html>）から購入できます。

2) 7. 応募方法の(6)のCASBEEの2021年SDGs対応版評価ツールは、（一社）日本サステナブル建築協会のホームページ（https://www.jsbc.or.jp/research-study/casbee/tools/cas_nc.html）から無料ダウンロードできます。

3) 参考として「第1回SDGs建築賞」の入賞作品紹介を下記でご覧頂けます。

https://www.ibecs.or.jp/sustainable/building/SDGs_1th/index.html

4) 頂いた個人情報は、本件の審査、問合せ、結果通知以外には使用しません。当財団の個人情報保護方針は下記でご覧頂けます。

<https://www.ibecs.or.jp/help/privacy.html>

10. 応募資料の問い合わせ先

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-8-9 HB平河町ビル

（一財）住宅・建築SDGs推進センター建築環境部 SDGs建築賞事務局

電話 03-5213-4191 e-mail kankyo@ibecs.or.jp

SDGs 建築賞 応募申請書

一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センター 御中

第2回 SDGs 建築賞に応募致したく、関係資料を添えて申し込みます。

応募責任者 (A 建築主 B 設計者 C 施工者) いずれか選択して○

団体名、所属、役職、氏名 (フリガナ)

応募者 入賞された場合、賞状の宛名に記載されます。団体名のみでも可

建築主	団体名、所属、役職、氏名 (フリガナ)
設計者	団体名、所属、役職、氏名 (フリガナ)
施工者	団体名、所属、役職、氏名 (フリガナ)

連絡責任者 (正) (A 建築主 B 設計者 C 施工者) いずれか選択して○

(フリガナ) 氏名		団体名・ 所属・ 役職	
電話	() -	Eメール	
住所・所在地	〒		

連絡責任者 (副) (A 建築主 B 設計者 C 施工者) いずれか選択して○

(フリガナ) 氏名		団体名・ 所属・ 役職	
電話	() -	Eメール	
住所・所在地	〒		

応募建築物 (工事の別) (1. 新築 2. 増改築 3. 模様替え) いずれか選択して○

応募の部門	1. 大規模建築部門 2. 中・小規模建築部門 (いずれか選択して○)		
建築物の名称			
所在地			
主要用途			
竣工時期等	新築	竣工年月日 年 月 日	使用開始年月日 年 月 日
	増改築	当初の竣工年月日 年 月 日	当初の使用開始年月日 年 月 日
	又は模様替え	増改築又は模様替え部分の竣工年月日 年 月 日	増改築または模様替え部分の使用開始年月日 年 月 日
受賞履歴			

※下記のレイアウト図は例示です。自由にレイアウトしてください。

提出用紙サイズ：A3

建築物の全体概要に関する説明書（1.～3.の配置、面積配分は自由）

箇条書きにするなど簡潔な説明をして下さい。

様式2

1. 建築物の全景（写真及び説明文）

2. 周辺環境の説明（写真、図及び説明文）

3. 建築物の主要部の説明（図面、写真及び説明文）

矩計図、代表階平面図、外観・内観写真等

※「SDGs達成に向けた取組」の説明に関わるものは様式3へ記載して下さい。なお、SDGsの1から17のゴールの中から5つ選び、各々最も顕著な内容について簡潔に説明して下さい。

※下記のレイアウト図は例示です。自由にレイアウトしてください。

提出用紙サイズ：A3

SDGs 達成に向けた取組に関する説明書 (特徴～ の数、配置、面積配分は自由)

箇条書きにするなど簡潔な説明をして下さい。

様式3

全体コンセプト

Blank area for overall concept.

ゴール〇達成に向けた取組 (設計・施工・運用・廃棄等の観点で)

特徴 ○○○○○○○○○○

ゴール〇達成に向けた取組 (設計・施工・運用・廃棄等の観点で)

特徴 ○○○○○○○○○○

ゴール〇達成に向けた取組 (設計・施工・運用・廃棄等の観点で)

特徴 ○○○○○○○○○○

ゴール〇達成に向けた取組 (設計・施工・運用・廃棄等の観点で)

特徴 ○○○○○○○○○○

ゴール〇達成に向けた取組 (設計・施工・運用・廃棄等の観点で)

特徴 ○○○○○○○○○○

建築物の概要				建築物使用区分	
階数	地上 地下	階、塔屋 階	階	主たる用途	面積、比率
高さ	軒高	m、最高	m	事務室	m ² %
建築面積			m ²		m ² %
基準階面積			m ²		m ² %
延べ面積			m ²		m ² %
全空調面積			m ²		m ² %
構造					m ² %
平方メートル当たりの概算工事費（外構、杭及びその他特殊基礎工事費用を除く。）					m ² %
					m ² %
				約 万円/m ²	合計

平成25年基準/平成28年度基準（建築物省エネ法）（いずれかを選択して○）を適用している場合 *1

(1)外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置（PAL*） ※28年度基準適用の場合は必須ではありません。
 年間熱負荷係数 (MJ/m²・年)
 (基準値 MJ/m²・年) } ※モデル建物法による計算の場合は不要。
BPI ()

(2)空調設備等に係るエネルギーの効率的利用のための措置
 基準一次エネルギー消費量 (GJ/年)
 設計一次エネルギー消費量 (GJ/年) } ※モデル建物法による計算の場合は不要。
BEI ()

設備概要	電気概要 *3
空調方式：	設備容量：照明コンセント () VA/m ²
熱源方式：	：一般動力 () VA/m ²
給湯方式：	：空調動力 () VA/m ²
冷房熱源容量： () kW (又は RT)	：合計 () VA/m ²
暖房熱源容量： () kW (又は MJ/h)	
蓄熱槽： () m ³	
給湯熱源（電気・ガス・油・ ）容量： () kW (又は MJ/h)	

年間エネルギー消費量実績（西暦 年 月～ 年 月）

電力	kWh	ガス	m ³	油	l
----	-----	----	----------------	---	---

注 *1 「エネルギー消費性能計算プログラム」の計算結果に基づき記入して下さい。
 *2 延べ面積が300 m²以上の建築物については、省エネルギー計画書に基づき記入して下さい。
 また、適用基準を選択して下さい。適用基準が複数になる場合は、用途毎にまとめて別添にして下さい。
 *3 この表におけるm²当りの計算は延べ面積を用いて算出して下さい。

直近 1 年間の月別エネルギー消費量の実態

	電力 (kWh)	ガス (m ³) (kJ/m ³)	油 (l) (種類)	一次エネ換算 (MJ)	特記事項
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
12 ヶ月合計					
12 ヶ月合計 ／延べ面積					

注 一次エネルギー換算は、平成 28 年国土交通省告示第 265 号に定める数値を用いて計算してください。
地域熱源を採用している場合はこの表に準じてエネルギーの使用状況を明確に示す資料を別に提出してください。
この様式により難しい場合には、この表に代わる調査表を提出してください。

空調使用状況

冷房期間	月 日 ~ 月 日
冷房時間	時 ~ 時
暖房期間	月 日 ~ 月 日
暖房時間	時 ~ 時